

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

横浜市

（地域における現状・課題）

国の方針である地域移行を見据えつつ、地域の特性等を活かした生徒にも教員にも持続可能な部活動を実現することを目指している。そのため、生徒だけではなく、全ての教員が横浜市立学校部活動ガイドラインを遵守することが不可欠である。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：リーフラス株式会社、一般社団法人GODAIスポーツライフ

活動場所：実施校内

指導者：受託者（民間事業者）の指導者

移動手段：徒歩

責任主体：横浜市教育委員会

活動種目：バレーボール、サッカー、バスケットボール、バドミントン、硬式テニス

会費等：徴収なし

保険：800円（生徒）

（実践研究の成果）

- ①顧問教員の休養日の確保（身体的・精神的な負担を軽減できる）
- ②専門的な指導による生徒のスキル・モチベーションの向上
- ③学校において部活動指導員を探す負担の軽減

（運営体制図）

